

Founder's STORY

禪に育まれた感性から生まれた香り ——COERAHS 創設者 Eddie Li の原点

幼少期——禪の母に育まれた“内面を見つめる”感覚

創設者 Eddie Li は、母が禪の指導者であった家庭に生まれ、幼い頃から宗教や仏教の物語に触れ、「内面を見つめる」という思想を自然と吸収して育ちました。人の感情や心の状態は外の世界と同じくらい大切だ——その感覚を早い段階で身につけていたのです。



高校時代——「独学で進んでいい」と確信した瞬間

高校時代、Eddie は海外の起業家たちのストーリーに触れ、自由で挑戦的な文化に強く影響を受けました。伝統的な教育にとらわれず、自らの力で道を切り拓く姿を知り、「独学でも前に進んでいいのだ」という確信を持つようになります。この経験が、後の起業家としての歩みに大きな影響を与えました。

転換点——香りは“内面の媒介”へ

年齢を重ねるなかで、香りを単なる装飾のラベルではなく、自分の内側を探り、心のバランスを取り戻すための媒介と捉えるようになりました。COERAHS の根本哲学は、ここから芽生えています。

誰も挑戦していない道への挑戦

COERAHS を立ち上げたとき、一番の困難は「誰もやっていないこと」に挑戦したことでした。市場に理解されず、孤独を感じることも多く、方向性を見失うこともありました。そんな時、私が選んだのは「立ち止まること」でした。無理に進もうとはせず、まずは一度立ち止まり、自分自身と静かに向き合い、心を休ませる時間を持ちました。

焦らず、自分の中にある声が再び聞こえてくるのを待つ。そうして少しずつ、自分の原点や想いを思い出し、また一歩ずつ前に進むことができました。

「向き合うべき相手は“外”ではなく“自分の内側”だった」——この気づきは、今のブランドの在り方そのものに繋がっていると思います。

COERAHS®

理性と感性の融合——独自の強み

Eddie は「理性と感性の融合」を COERAHS 最大の強みと語ります。科学やソフトウェアで培った合理的な発想と、香りやデザインの感性的な側面。この両極を掛け合わせる“ハイブリッド発想”こそが、COERAHS をユニークな存在にしているのです。

海外進出で直面した壁

日本市場に挑んだ際、最も戸惑ったのは「ビジネスのペースの違い」でした。台湾や他国の市場に比べ、日本は非常に慎重で時間をかける文化。最初は戸惑いもありましたが、否定せず、敬意をもって学びました。この経験が、異なる市場に適応する柔軟性を私たちに与えてくれました。

日本の消費者へ届けたい価値

「香りによって内面と外の世界をつなぎ、心地よく、ゆったりとした安心感を生み出す。」——COERAHS のスピリットは市場を超えて変わりません。日本の消費者にも、香りをファッションのように自由にまとう楽しさと、自分の内側に触れるきっかけを届けたいと考えています。

未来へのビジョン

COERAHS の目指すところは、香りの体験を通じて、人々の日常や意識に前向きな変化をもたらすことです。香りがきっかけとなり、自分の内面に耳を傾け、飾らない本来の自分を大切に、忙しい時代の中で心のバランスを取り戻す。そんな体験を届けていきたいと考えています。

COERAHS が信じる“美しさ”

美しさとは、単なる外見や装飾ではありません。私たちの世代にとって、日本は、その美学——とくに「物の哀れ(もののあはれ)」の精神や文化に深く影響を受けてきました。美しさとは、時代や文化の記憶と結びついた感情の深みであり、懐かしさや儚さが心に触れる瞬間に、真の美しさが宿ると信じています。

現代における香りの役割

情報過多で感情が置き去りにされがちな時代において、香りは人々が**内面のニーズと外の世界との間で調和を見いだす架け橋**です。COERAHS は、その体験を届けるブランドでありたいと願っています。

COERAHS®

COERAHS STORY

香りは飾りではなく、心を映すもの——COERAHS が目指す新しい文化

台湾では 2016 年に SHARECO (シェアコ) として誕生。2025 年の日本上陸にあたり、ブランド名を逆読みした COERAHS (コエラス) を採用しました。「R」の文字をミラー反転させる遊び心には、「枠にとらわれない探究精神」を込めています。

COERAHS が提案するのは、“香りで自分を自由に表現する”という新しいスタイル。単なる「いい香り」ではなく、心の奥に眠る感情や記憶を呼び起こし、まだ知らない自分と出会うきっかけをつくります。ファッションを気分を選ぶように、その日の自分を香りでまとう自由さを楽しんでもらいたいのです。

全 7 種のフレグランスはジェンダーを超えて寄り添うユニセックス仕様。時間とともに移ろい、深みと個性を重ねる香りは、一瞬のときめきから深い余韻までを描き出します。日常に静かに寄り添いながら、「言葉では語れない私らしさ」を映し出します。

「香りは人が内面と外の世界を調和させるための架け橋です」と Eddie Li は語ります。

外見を飾るラベルではなく、**内面と外面をつなぐ架け橋へ**——COERAHS の挑戦は、香りの新しい可能性を開いていきます。

